

# 令和4年度 第2回高知市食育推進会議 議事録

日時：令和5年2月27日（月）18：30～20：30

場所：総合あんしんセンター3階 中会議室

1 開会（司会：健康増進課 小原課長補佐）

2 新任委員紹介（司会より紹介）

3 議事

① 第4次高知市食育推進計画策定について

・第3次高知市食育推進計画 食育推進に向けた目標値に対する現状について  
資料（p4）を用いて事務局が説明

・高知市食育に関するアンケート調査について  
資料（p5～6）、別添資料1、別添資料2を用いて事務局が説明

## 【質疑応答】

（1）食育への関心

〈田村委員〉

②実践の回答の「一日3食きちんと食べる」の「きちんと」はいらないのではないかと。「きちんと」というのは、時間のことなのか、バランスのことなのか、曖昧で分かりにくいので「1日3食食べる」に変更してはいかがでしょうか。

〈事務局〉

「きちんと」があいまいでわかりにくいというご意見ですが、おっしゃるように「きちんと」のとらえ方が人によっては違うと思いますが、ほかの委員の皆さんはいかがでしょう。

〈渡邊会長〉

確かに「きちんと」は量とか、時間とか、バランスとかも入ってくるとは思いますが。これは全国的にはどうなのでしょう。きちんとという言葉は使われているのでしょうか。

〈事務局〉

この質問は評価項目になってまして、前回のときにはこのようなかたちでアンケートを取らせていただきました。特に成人につきましてはこれが評価になりますので、前回と同じようなかたちで出来ましたら、比較をするときにはいいのかなというふうには思います。

〈渡邊会長〉

どうでしょうか。前は気が付かなくても今回は気が付くということがあります。三谷委員、何かありましたら願いたします。

〈三谷委員〉

対象者に小学5年生・中学2年生がいますが、学校では「早寝早起き朝ごはん」キャンペーンをずっと長くやっております、おそらく、ここで言う「きちんと」というのは、朝ごはんは食べて学校に行って、昼も夜も食べる意味だと思います。表現の仕方は分かりませんが、子どもに対しては「きちんと」というのは大事なのではないかと思いました。大人になればライフスタイルで、昼に朝ごはんを食べてというのものもあるかもしれませんが。

#### 〈田村委員〉

回答の2番以降の選択肢が「きちんと」で「きちんと」がついているのかな？と思って。「きちんと」というのが、きまった時間に食べる、栄養バランスをとるだとか、よく噛んで食べる等が「きちんと」だろうし。「一日3食きちんと食べる」と答えてしまえば、他の項目にも当てはまるのではないかと思います。

#### 〈渡邊会長〉

そうですね。逆に言えば、全部が「きちんと」に入るのという感じですね。

#### 〈近森委員〉

学校等の他のアンケートでもそうですが、最近「きちんと食べる」という表現が無くなってきている気がします。分かりづらいというよりは、ここで聞きたいことは「一日3食食べている」ということなのか、どういうことをどこまで聞きたいのかというところにもかかってくると思います。先ほども言われていたように下の選択肢に「きちんと」した部分が含まれているので、無くてもよいのかなど。あと対象が成人の方だけなので、ライフスタイルが変わってきているところも考えると、一日3食だけでも構わないような気がしますがいかがでしょうか。

#### 〈渡邊会長〉

この文言を変えることによって、アンケートに差が出てくるでしょうか。

#### 〈事務局〉

このアンケートは、もともと第一次計画で設定した項目をそのまま使っておりますので、10年経ってきております。おっしゃるとおり10年経つてくると捉え方もより変わってきていますし、田村委員の言われたとおり「きちんと」が下に含まれているのではないかと、というご意見をいただき、本当にその通りだなと思いますので、成人の「きちんと」を外すということであれば、幼児、小中学生も合わせて「一日3食食べる」に変更させていただこうと思いますがいかがでしょうか。

#### 〈渡邊会長〉

それでは、「きちんと」を外すということによろしいでしょうか。

### (2) 現在の食生活

#### 〈水田委員〉

① 朝食「あなたは（お子さんは）ふだん朝食を食べていますか」の質問では、対象者に幼児も含まれていますが、幼児の中で「ほとんど毎日食べる」以外を選んだ場合、②朝食欠食理由の質問の対象者に幼児が入っていません。（②で対象者になっているのは保護者自身のことを答えるのだと思う）

保育園には毎日食べてきていない子どもがおります。その理由は保護者に聞かないと分からないかもしれませんが、幼児が食べてこない理由も聞きたいなと思います。

#### 〈渡邊会長〉

幼児の方が正直に答える場合もありますよね。例えば食事が用意されていないとか。保護者が言わなくても幼児の方が答えるというのもあるということですが、いかがでしょうか。

幼児の方にも質問項目があったほうがいいんじゃないかという、ご意見ですけれども。

#### 〈事務局〉

補足をさせていただきます。これは、幼児とその保護者が対象のアンケートですが、どちらにしましても、ご回答いただくのは「保護者」になります。幼児に直接聞くのは難しいと思います。

〈水田委員〉

誰のことを答えるのかというのは。

〈渡邊会長〉

① の質問では幼児のことも聞くのですが、その理由については幼児には聞かないということですね。

〈水田委員〉

ただ、食べない理由がお母さんが作ってくれないからということがあるかもしれません。②朝食欠食理由については保護者自身の答えも必要ですけれども、子どもが食べられていない理由は何なのかを保護者に答えていただけたらと思ってお聞きしました。

〈渡邊会長〉

いかがでしょうか。非常に大事な意見だと思いますが。

〈事務局〉

このアンケート以外にも健康づくり計画のアンケートを取っています。前回の健康づくりアンケートで3歳児健診で同じように聞いたときにも、朝食の摂取と欠食の理由を質問にいれておりました。ただアンケートに答えた方で欠食と答えた人がほとんどいなかったもので、この回答がなかなか得られなかったという経過があり、健康づくりの方では、次回は聞いても回答が反映できないのではないかと検討を今しているところです。

食育では、これも保護者さんに直接聞いてるのですが、やはり優秀な答えしか返ってこない部分も多少あります。別途何かそういうことが聞ける機会がありましたら、例えば3歳児健診の問診の中で、朝食をとっているかということも確認ができますので、その中でとってない子どもの保護者に聞いて把握することはできるかなというふうには考えておりますが、やはりここに入れておくべきではないかというようなことでしたら検討していきたいと思っておりますがいかがでしょうか。

〈渡邊会長〉

いかがでしょうか。質問項目に入れておいて、回答が取れなかったという結果になるかもしれませんが。それでもよろしいですか。

〈事務局〉

あともう1点、前回、親の朝食の欠食と子どもの朝食の欠食についても、クロス集計しました。その場合、一番寝る時間が遅い子が食べてないとか、そういうことが見えてきてきましたので、そういうことで朝食の欠食の理由を探っていくたり、あと親自身が食べてない子どもは食べてなかったりとかいうのがあったのですが、親は食べてないけど子どもは食べているということがほとんどでしたので、食べてない子どもはどちらかというとなら寝時間との関係が大きかったかなと前回集計している中では感じました。限られた質問の中で、どうしてもでない質問は外したいというところはあります。

〈渡邊会長〉

そうしましたら、この件につきましては要検討ということで、一旦保留ということでよろしいでしょうか。

〈水田委員〉

はい。現場では、お母さんに聞かず子どもに直接よく聞きます。私の顔見たら、私が聞く前に「今日はパンと紅茶」と答える子もいたりして。お母さんに聞いたら確かに、いい答えが返ってくるのかな？でも子どもに聞くと「食べてない」「そしたらお腹空っぽやね、お腹すい

たね」って。そんな話がよくあるので。お母さんに聞く数よりは、実際は欠食が多いかもしれないので、その理由を知りたいなと思ったところです。でも他のところでそういうことが、確認できているならば、あえて聞かなくてもよいかもしれません。

#### 〈渡邊会長〉

それでは一旦これは、保留ということでもよろしいでしょうか。

#### 〈田村委員〉

すいません、やっぱり(2)・①の回答「ほとんど毎日」という表現が引っかかってしまうのですが。回答の選択肢の「ほとんど毎日」の次が「週4日から5日」になるので「ほとんど毎日食べる」って多分、週6日から7日のことを指し、ほとんど食べないは0から1を指すんでしょけれど。

「ほとんど毎日」っていう表現、やっぱり答えやすいんですかね。

#### 〈渡邊会長〉

確かに私たちもアンケートを答えるときに「ほとんど」とついてたら、ちょっとあいまいな感じもするんですけども。

#### 〈事務局〉

答えにくさは多少あるかと思うんですが、この項目は国の食育に関する意識調査の聞き方と全く同じ聞き方をして国の実態と比較しようかというところで、選択肢も合わせています。

国が経年的に全く同じ質問で聞いているのと、高知市も一次・二次計画とずっと国の聞き方と全く同じに聞いてきているという経過があり、確かに6日7日じゃないかっていうところは事務局も思う部分がありますが、どうでしょうか。

#### 〈田村委員〉

毎日食べる人と、ほとんど毎日食べる人は違うと思います。そこが言いたいというか。

だから、「毎日食べる」という項目があって、「ほとんど毎日食べる」という項目があるのはいいと思いますが、「毎日食べる」という項目がないのが、何か聞きたいのかなっていう感覚があります。

#### 〈渡邊会長〉

「ほとんど毎日食べると」と「毎日食べる」が一緒になってるということですね。

事務局も国の質問とある程度合わせるというところはあるかと思いますが、いかがでしょう。

#### 〈田村委員〉

「食べない」と「ほとんど食べない」のは違うと思うんですけど。

それはちょっと面倒くさくなりますか。

#### 〈三谷委員〉

もし私がこれをつけるとしたら、毎日食事するんだけれども、たまにちょっと一食抜いて、さてそれはどこに入れるかっていう。個人的には、多少遊びのある方が答えやすいかなと思います。

#### 〈田村委員〉

食育を気にしている人って、毎日食べさせて頑張ってるっていらっしゃる方が少なからずいらっしゃると思うんですけど、そういうことを評価しないのかなと。

私、頑張ってる毎日食べさせているのに、項目がないと。

〈渡邊会長〉

ちょっと、薄れてくるってことですよ。

〈田村委員〉

そうです。

〈渡邊会長〉

確かに。

わかります。食べてますっていう項目がないんですね。項目を増やすのはややこしいですか。

〈事務局〉

ややこしいというよりも答える側のニュアンスが変わってくるので、集計の際に「毎日食べる」と「ほとんど毎日食べる」を一緒にしていいのかどうかと。逆にこちらの方が国と比較したりする時とか、前回との比較をしていく時に、そこをどう扱うかなってところは正直あります。

できましたら、このままでいかせていただきたいというところがありますが、いかがでしょうか。

〈渡邊会長〉

皆さんいかがでしょうか。

田村委員さんのご意見もすごく貴重なご意見かと思うんですけども。

本当に毎日食べるということがここではわかりにくいってことですよ。

三谷委員がおっしゃったように、たまに朝食を抜くこともあるけれども、1週間は全部食べるけれど1ヶ月のうちに何回かは抜くということはあるかもしれません。

〈三谷委員〉

で、ほぼ毎日食べると。

〈田村委員〉

毎日があつてほとんど毎日があるのは、全然納得できるんですけど。毎日がないので。

〈渡邊会長〉

続いているこの項目を変えると何かややこしいっていうと、ずっと何年も変わらないような感じもしますけども、これもどうでしょうか。時間も限られていますので、もう1回考えるということで田村委員、よろしいでしょうか。

〈田村委員〉

はい。

〈新谷副会長〉

細かいことですが、食品摂取の多様性というところの選択肢です。

肉、卵・卵製品、3番目に油脂類が入ってきています。この順番がですが、たんぱく質（の多い食品）でまとめるのであれば、肉、魚、卵、大豆・大豆製品、牛乳・乳製品。油脂類はその次かなと思いますが、何か意図的にここに持ってきた理由はありますか。主菜でまとめた方がいいかなと思ったのですが。

〈基幹型地域包括支援センター〉

高知市で高齢者を対象に取り組んでいる取組として、10食品群のチェックシートという取組があります。その中では、肉、卵、油脂類が洋食グループ、そのあとが牛乳・乳製品で、魚介類、大豆・大豆製品、緑黄色野菜が和食グループとその他という分類がされていて、順番もこのようになっていたので、それに

合わせてまとめています。

〈渡邊会長〉

これは高齢者の東京大学のアンケートと一緒にですね。

〈基幹型地域包括支援センター〉

そうです。まとめ方がそういう形になっています。

〈渡邊会長〉

高齢者の場合こういう順番になっているということで、私もよく使うんですけども、それと一緒にということですね。よろしいでしょうか。

(3) 共食の状況

〈田村委員〉

(3) -③の回答について、これが「朝食を食べないことが多い」なら納得なんですよ。

なんでここは言い切るのに、前の質問は「ほとんど食べない」とか、アンケートを答える人が迷うような言い方かなと。

上の大項目では「ほとんど食べない」なのに、なんでこの質問になったら「朝食を食べない」っていう。上にも「食べない」があるんだったら納得できるんですけど、なんで下では「食べない」になるのか。「食べないことが多い」なら質問として統一性があると思うんですけど、ちょっとそこが気になります。

〈渡邊会長〉

上の質問と、この共食の項目についてが重複した質問なのに、回答の選択肢が違うということですよ。これについてご意見いかがでしょうか。

〈船井委員〉

子どもは子どもで食べるし、大人は大人で食べるから。

子どもと大人の食べる時間は違うと思うので。自分の両親は子どもを送り出した後に食べていました。

子どもの時に一緒に食べた記憶はなく、日曜日だけ一緒に食べていました。

学校のクラブとかある中高生になったら一緒に食べることはないの。

〈渡邊会長〉

この質問についても、ある程度、調整しないと難しいところがあると思います。

確かにこの重複した質問のところ聞き方が違うっていうのはちょっと疑問ではありますけども。

その前に共食の項目と朝食の項目とのリンクというのはあるのでしょうか。

共食の状況の項目と、それから現在の食生活の朝食との質問とどうでしょうか。

これから大項目のところ同じような質問がでてくるかもしれませんけれども。

〈田村委員〉

だからほとんど食べない人が(3)に行くと答えられない。

食べない人が多いだったら答えられるんですけど。

〈事務局〉

そうだと思いますが、この(3)はもともと共食をしているか、できてないかということ聞きたくて設定しています。

そうすると食べてない子どもが、1にも2も入らないから、選択肢がいるのではないかということで、設定した項目になりますので、言われる通り朝食を食べないことが多いというような表現にしたら答えやすいというふうにとらえて修正したいと思います。

〈渡邊会長〉

そのように修正していただくということによろしいでしょうか。

〈事務局〉

はい。

(4) 生活習慣病の予防や改善に関する実践状況

〈渡邊会長〉

私の方から一ついいでしょうか。

(4)-②減塩に関する実践で「1. 減塩の調味料や食品を使う」とありますが、いきなりって感じがします。例えば「薄味に気を付けてますか」っていうようなことを私たちはよく聞くんですけども、いきなり減塩の調味料と食品というのはちょっと違和感がありますが、これはいかがでしょう。

私は、食品について聞いてますので味について聞いてない。というのが、ちょっと気になるんですけども。

他に、この項目についてご質問ご意見ございませんでしょうか。

〈近森委員〉

減塩に関する実践項目、新たに選択肢の2の項目を書き換えはしてくださっているのですが、「塩分の多い食品」という言葉をつけたのに、漬物や佃煮に限定してしまうと、何の意味もないんじゃないかなと思うんですけど。卓上調味料のところは「しょうゆ、ソースなど」になってるんですが、何かこうバランスが悪い気がしますが、どうでしょうか。

〈渡邊会長〉

事務局、どうでしょうか。

要するにこの漬物や佃煮っていうのは必要じゃないんじゃないかということですよ。

〈近森委員〉

漬物や佃煮「など」にすればいいのかなと。これだけではないので。塩分の多い食品がついてくるのであれば、下のしょうゆ、ソースなどと一緒でいいのではないかなと。

〈渡邊会長〉

そうしましたら、佃煮のあとに「など」を入れていただく。ということによろしいでしょうか。

〈事務局〉

会長が言われた薄味に気を付けるっていうことの表現というのは、もちろんあるかなとは思いますが、「減塩の調味料や食品を使う」といったらちょっとダイレクトすぎるというご意見でしょうか。

〈渡邊会長〉

そうです。

例えば減塩しょうゆを使うとか、そういうことですよ。

〈事務局〉

もともとは右に参考と書いております日本高血圧学会の減塩のコツと塩分の多い食品・料理を参考に選

択肢を設定し、そこから実践で具体的に何か根拠となるような選択肢がないかということで、設定させていただいているのですが、回答される市民の方側からすると、ちょっと極端じゃないかっていうご意見もいただきましたので、その生活習慣病を担当している部署ともう一度確認させてください。

## (5) 食文化 (6) 農林漁業体験

(質問等特になし)

### (7) 環境への配慮や産地・生産者を意識すること

#### 〈田村委員〉

(7) -①食べ残しの1, 2の選択肢を選んだ児童生徒に対して聞く質問については、この3つの回答だけじゃなくて「その他」があった方が答えやすいんじゃないかなと思います。

生産者のことを考えてみるとか何かそういう答えがありそうなんですけど、その他があればいいんじゃないでしょうか。どんなところに心がけていますか?の選択肢が3つしかないので、ちょっと狭すぎるかなと思います。

#### 〈渡邊会長〉

食べ残しのところで、4番目に「その他」を入れるということですね。  
これにつきましてはいかがでしょうか。

#### 〈教育政策課〉

この設問ですけど、3つはどうだろうかという提案をさせていただいたんですけども、今言われていましたとおり、このほかにも理由がある子どもがいるかもしれませんので、「4. その他」を記入していただいてもかまわないと思います。

#### 〈渡邊会長〉

「4. その他」を追加していただくということよろしいでしょうか。

#### 〈教育政策課〉

はい。

#### 〈坂本委員〉

「あなたは高知の産地や生産者を意識して、農林水産物や食を選んでますか」とありますが、まず1点。  
「高知の産地や生産者」は意味が一緒なんですよね。これはもう「高知産を意識して」でも構わないのではないのでしょうか。

2つ目は、資材など高騰していますが、他の業界は価格に転嫁できるんですけど、国としては農業者、農産物は作っても食品の価格に転嫁できないと問題になっています。JAグループとしても、その点消費者にわかっていたきたい。

そういった意味合いもあって、国も調査をかけているのかなと感じていますので「高知産または国産を意識して」を入れたらどうかと思いますがいかがでしょうか。

#### 〈渡邊会長〉

そうしますと、項目の地元産品の使用っていうところが国産となれば、ちょっと違ってくると思います。どうでしょうか。質問項目を国産とかに変えると、この地元産品の使用っていうのがちょっと生きてこないっていうのはあるかと思えます。

〈事務局〉

先ほどの高知産については、言葉が分かりやすい方がいいと思いますので、高知産にいたします。

あと「高知産もしくは国産」というご意見もいただきましたが、今回、国が新しく目標を立てた時に、国では、応援したいところというので、例として地元産品が入っていました。国全体というよりは地元であるとか、場合によっては被災地のように自分が応援したい地域のものを意識して買っているか、選んでいるかというふうになっていますので、国産にまで広げてしまうと、範囲として広くなりすぎるかなというふうに考えておりますがいかがでしょうか。

〈坂本委員〉

わかりました。

〈渡邊会長〉

そんな感じですよ。

ここ変えると、なかなか難しいというのはあるかと思いますが、そしたら現状のままでよろしいでしょうか。

〈事務局〉

言葉の方は、先ほどご提案いただきましたように「高知産を意識して」に直します。

〈渡邊会長〉

「高知産を意識して」ですね。その他にございませんでしょうか。

② の回答の選択肢が多いんですけども、大丈夫でしょうか。3番目のリメイクは新しく入ったところでしょうか。

〈新エネルギー・環境政策課〉

この③の選択肢ですけれど、3・8・9・11を追加させていただいています。この追加につきましては、右端の消費者意識に関する調査（令和3年度国の調査）に統一して、全国との比較ができるようにということになります。

〈田村委員〉

結局13番はいらんんじゃないかなと思っていて「12. その他」まで聞くのであれば、結局選ばない人が13番ってことなんだと思うんですけど。13番は聞きますか。

〈新エネルギー・環境政策課〉

そうですね、国に合わせてることが一点と、あとこれが二次計画の評価指標になってたということで、前の数値の出し方が13番（取り組んでいることはない）を選んだ人以外って出し方であったので、どちらでも出せると思うんですけど。あとは、事務局に任せます。

〈田村委員〉

選ばない人はどういうカテゴリーに入るんですか。

〈新エネルギー・環境政策課〉

全て選んでない人は、それを無効票にするというアンケートの集計上のルールがあるとは思いますが。

〈渡邊会長〉

例えば、全項目を選ばないというのはどんな人ですか。

〈田村委員〉

全部これを読むのが面倒くさい人ですね。選択肢が多いと、そういうことが出てくるんですよ。

5番ぐらいまで見るともういいよ、やってないよという感じになって、取り組んでない人が13番までいって取り組まないって、選ばないでしょうという話です。

〈渡邊会長〉

これも国と同じ質問ということで。

〈新エネルギー・環境政策課〉

そういう設定になっています。

〈渡邊会長〉

確かに多いので、途中で嫌になることもあるかとは思いますが。

これはこのままでよろしいでしょうか。

〈田村委員〉

はい。

#### (8) 食品の安全性

〈田村委員〉

食中毒予防の知識も、答えられないと無効票ということでしょうか

〈渡邊会長〉

これも全部知らない人もいるということですよ。その人を想定はしていないということではないですよ。

〈田村委員〉

だから上の食品ロスの取り組みで、何もしない人は無効票だと言ったので、この質問も答えない、答えられない人は無効ってということということですかね。

だから「知ってることはない」っていうのがあれば、質問として統一性があると思うんですけど。

〈渡邊会長〉

8番に「知っていることは何もない」があればいいのでは、ということですね。いかがでしょう。

〈生活食品課〉

こちらの設問については、すべて知っておいていただきたい内容になっておりまして、前回の時も全部知ってるという方が知識のある方という評価をさせていただいています。

全問正解しないと知識があるという評価をしなかったために、現状値がとても低い項目になっています。こちらの項目については、選択されていなくても無効票ではないっていう取り扱いを前回はしていました。

今回も同様というふうに考えております。

〈事務局〉

田村委員が質問の統一性と言われているとおり、統一性をはかるために、はっきり知っていることがないというのを加えても支障はないので、市民が違和感があるということであれば、食品ロスについては、「取り組んでいることはない」という選択肢をもとに評価をしていたというところがあるので、そこは外すことは厳しいと思いますが、食中毒のところに「8知っていることはない」を入れるということは、特に支障はないかなと思いますので、知ってることはないという項目の追加を検討したいです。

〈田村委員〉

答えないっていう項目は作らないんですよね、前提として。  
何も答えないっていうのはないんですよね。

〈渡邊会長〉

無回答はないといことですね。

〈田村委員〉

無回答はないっていうふうには作らないと。

〈事務局〉

未記入の場合は無回答というような形で判断して集計しています。無回答の数もカウントして、無回答を入れて100%という形で集計はさせていただいています。

〈田村委員〉

けれど全体として、最初の話に戻りますが、答えられるような質問をやっているというのが最初からの説明だと思うのですが、どうしてそこで最後になってはじくみたいな、無回答もOKですよみたいな話が出てくるのかちょっと分かりかねます。

〈事務局〉

無回答はOKとしているわけではなく、全部答えていただきたいとはもちろん思っていますが、無回答の方がいらっしゃった場合には、答えられた方の中で何割が答えられたかっていうことで集計をさせていただいているので、そこはご理解いただけたらと思います。

〈渡邊会長〉

そうしましたらこの項目の「8 知らない」という項目も必要と思うんですけども、いかがでしょうか。この項目を入れるってことは、可能でしょうか。それでよろしいでしょうか。

〈三谷委員〉

細かいところですが、その下に「食品表示のみかた」というのはこれはわざわざひらがなにするか意味があるのでしょうか。

他が漢字でいっぱいあるので、見方がひらがなというのは何か意味があるのかなと思いました。

〈生活食品課〉

やわらかいかなと思って、ひらがなにしています。

漢字で書くと知らない言葉に見えやしないかとちょっと気になって、ひらがなにしました。

〈三谷委員〉

わかりました。

〈渡邊会長〉

それでは、ひらがなで残すということでよろしいでしょうか。

(9) その他

〈渡邊会長〉

これも「離乳食の進め方についてについて学ぶ機会がありましたか」というのは選択肢が2つしかないのですが「ほぼなかった」というのはないんですよね。

特に必要でなければ、いいかと思うんですけども、ここは言い切ってるなど。

〈母子保健課〉

確かにここは言い切っているんですが。

これは前から変更はないというところで、そのままにしていました。

〈渡邊会長〉

このままでよろしいでしょうか。

〈母子保健課〉

はい。

〈新谷副会長〉

(9) その他の②妊娠期の食生活についてですが「3. 塩分を取りすぎないようにする」というような表現をしていますけれども、栄養士は「食塩を取りすぎないようにする」という表現をしますが、そこはいかがでしょうか。

〈母子保健課〉

妊婦の面談などの窓口では、塩分も取りすぎないようにということでお伝えすることが多いためということで書かせていただいております。

〈渡邊会長〉

栄養の専門で言うと「食塩」という使い方をしますが、広義の聞き方で言うと「塩分」がわかりやすいとは思いますが、塩分になってるんじゃないかと思いますが、いかがでしょうか。

〈新谷副会長〉

答えられる方が一番わかりやすい表現をしてあげた方がいいと思いますので、よろしいかと思いません。

〈田村委員〉

またここでも「きちんと」という言葉を使うかどうかはちょっと判断してもらいたいのと、あと③授乳・離乳食のところで、「困ったことがありましたか」という項目がありますが、「あった」という人には、内容は聞いてあげた方がいいんじゃないかなと思うんですけど。困ったことがあった人は、どんなことなのか、それを解消するためにどういったことをするのかっていうような部分が欠けているような気がします。

〈渡邊会長〉

この困ったことの原因ですね。

それについてはいかがでしょうか。この質問から何を求めているかですね。

〈母子保健課〉

ご指摘をいただいたように、困ったことがあったという場合には、具体的な内容を聞くようにしたいと思います。

## 属性

### 〈渡邊会長〉

最後の属性について、性別のところ、3、4が追加になっていますけども、これジェンダーの配慮ということで「回答しない」という回答が入っています。

この属性について、よろしいでしょうか。

### 〈地域コミュニティ推進課〉

性別についての設問において「3. その他」及び「4. 回答しない」という選択肢をつけたのは、多様性に対する配慮ということが意図になっています。

今までアンケートを通して「回答しない」という設問を作るというのはアンケートの趣旨としては反しているということで、つけてきてはいないのですが、性別を聞くということでアンケートを回答するのやめてしまうというような方がいらっしゃるの、現実的にあることです。この回答しないという選択肢があることで、回答してもいいだろうかと思ってもらえるように、付け加えております。

こういった選択肢は民間でも結構広くなってきている部分でもあるので、特に違和感はないかなという風にかんじています。

### 〈田村委員〉

だとすると、年齢も「回答しない」を作ったほうが良いと思います。

### 〈金井委員〉

年齢のところ、18、19歳は調査対象から確実に外れていますか。社会の中で18歳から成人とする場合と、20歳を成人とする場合もあります。

### 〈事務局〉

成人のアンケートの対象者は20歳代から70歳代になります。乳幼児の方は、保護者に送っておりますので20歳未満の場合もあるのでということです。

### 〈金井委員〉

分かりました。

### 〈渡邊会長〉

他もございませんでしょうか。

最後の「現在のあなたの暮らしについて、当てはまるものを選んでください」とありますが、この「ゆとり」というのは、いろんな意味があると思うんですけども、全体的なゆとりということでしょうか。金銭面も含めて。

### 〈事務局〉

基本的には経済的な部分が大きいかと思いますけど、回答された方のとらえ方で、気持ちの中にゆとりがないとやっぱりこういう行動がとれないということもあるのではないかと、いうところはあるんですが、健康格差とか、あと経済状態との関係ということで、国の方はこういうこととリンクさせて、評価しているので、それに合わせて選択肢を作っております。

### 〈渡邊会長〉

他に、ご意見ございませんでしょうか。

修正後のアンケートにつきましては、私の方で確認させていただきます。⇒委員からの異議なし

・今後のスケジュールについて

【事務局説明】

アンケート

幼児・幼児の保護者対象：事務局が修正したものを、会長が最終確認。

小中学生，成人対象：他に意見があれば，3月8日（水）までに事務局にメール・FAX等で連絡。

本日の意見と合わせ，事務局が修正したものを会長が最終確認。

〈渡邊会長〉

本日の予定は以上で終了となります。

それでは，進行を事務局へお返しいたします。

3 事務連絡

4 閉会